

令和 2 年

議会改革特別委員会記録

令和 2 年 1 月 7 日

東伊豆町議会

議会改革特別委員会記録

令和2年1月7日（火）午前11時18分開会

出席委員（11名）

1番	楠山節雄君	2番	笠井政明君
3番	稲葉義仁君	5番	栗原京子君
6番	西塚孝男君	8番	村木脩君
10番	内山愼一君	11番	藤井廣明君
12番	鈴木勉君	13番	定居利子君
14番	山田直志君		

欠席委員（1名）

7番 須佐衛君

議会事務局

議会事務局長 山田義則君 書記 吉田瑞樹君

開会 午前 11 時 18 分

○委員長（山田直志君） それでは、どうも臨時会の後、御苦労さまです。

ただいまの出席委員は11名で、委員定数の半数に達しております。よって、本委員会は成
立しましたので、開会いたします。

議長、御挨拶をお願いいたします。

（「結構です」の声あり）

○委員長（山田直志君） なお、7番、須佐委員から欠席の届け出がありましたので、御報告
をいたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議題につきまして、またその資料につきまして、開催の通知とともに配付してあり
ます。ある程度、目を通していただいたと思うんですけども、それぞれ多少、ちょっと2
班だけまとめ方が違ったというところがあるんですけども、大体、でも考えているところ
はそんなに違わないかなというふうには、ちょっと委員長としては思っておりますけれども、
ワーキンググループの責任者の方で何か補強なりしたいところ、補足に意見を述べるところ、
ないしまた、議員の皆さんからそれぞれの提案の問題について伺って、質疑、質問を聞いて
いきたいなというところがありましたら。

まず、その辺のちょっと補足と質疑をしていただきたいと思いますが、いかがですか。

各ワーキンググループの補足的な説明はよろしいですか。責任者、班長の方、いかがですか。

○11番（藤井廣明君） 大体出た意見を網羅してくれているんですけども、みんなで討議
したことをちょっとメモしてもらったものですから、書記の方、今日休みなんですけど、そん
な形でちょっと落ちたり、幾らか言い足りないなというふうなところがあるんですけども、例え
ば9番の「議員間討議の導入」というあたりも、これも必要なんじゃないかというふうなこと
で、議員間で自由に討議するという時間が意外と少ないということで、腹藏なくしゃべると
いうことが必要だっという意見が出たんですけども、その後のところに「当局にも呼びか
ける」というふうなものは、必ずしも必須条件ではないんです。これ、逆に当局なんか入れ
ちゃうと、しゃべりにくいとか、議員間討議にならないなというふうな気がするので、
その辺の意見は分かれたりしているんですけども、一つになっちゃっているんで、ちょっ
とその辺だけ念頭に置いていただきたいなというふうに思います。

それから、11番の「無記名者の意見は対象としない」というのも、ちょっと誤解といいますか、匿名の方でもすごくいい意見があるので、これは邪険にしないで、とりあえず受け付けて、自分たちもそれは参考にするとところはする。ただし、それについては返答のしようがないものですから、返答はできないというふうなことは、どこかに断りをいれなければならないんじゃないかということですので、そのところはちょっと、そんなふうに匿名の方の意見も可と、参考になるというふうに歓迎するというふうな姿勢を持っていたいなというふうに思いますので。

以上です。

○委員長（山田直志君） あと2班の稲葉さんのところは、特に補足はいいですか。

○3番（稲葉義仁君） 補足というか、うちの中では、今、委員長がおっしゃられたとおり、それぞれの事柄について、やらなきゃいけないことに関する意識ってそんなにずれていないと思うんですね、細かい部分は別として。

ただ、年度という意味で言うと、3月ってもうすぐなので、要は、じゃ3月までに向けて何をどこまでやるかというのはきっちり決めておかないと、いつまでも話し合っているだけで終わっちゃうというところがちょっと危機感があったので、うちはこういうふうにまとめましたという。

ただ、これが実際どこまでどうまとまるかというのは、何となくでまとめただけなのでという部分と、実際進めていくに当たって、今までどおりワーキンググループ単位でやると、変な話、事務局へ何から何まで、これ頼む、あれ頼むなんてやっていると、そっちがパンクしちゃうので、そこはある程度やっぱり、どことどこをどう進めるというのは、全体的にまとめていく必要があるかなとは感じております。

以上です。

○10番（内山慎一君） そのほうが基本的には、今、稲葉くんのようにでなくて、逆に結論じみたこと、やはりやっていくことと、やれないことをはっきりさせて、そういう結論に達しているから、そういうものの中で2班のようにスケジュールを決めてやっていくことが一番肝要かなというような、そんな考え方です。

○委員長（山田直志君） それぞれ多少補足の説明をしていただきましたけれども、いかがですか。よろしいですか。

あとは、大体、私の感想という、1班と3班のやつもずれていないし、具体的な方向性を2班は、こういうものを課題として進めていけば実現できるよねというふうになっている

ので、結局3つの提案をまとめていくと、方向性は非常に具体的になっているのかなというふうな感想は持っていますけれども。

あとすみません、ちょっと作業の問題では、もう一つの問題で言うと、結構、今の出た考え方の中でいくと、事務局の負担の問題というのもちょっと出てくるものですから、事務局のほう、それぞれの個別の問題じゃなくて、ちょっと意見等あれば。やっぱり事務局がこうやれよと言っても、事務局で現実的に対応、今2人しかいないという中で、すぐにできないものもあるかと思うので、事務局からちょっとこの辺の提案を見た中で感じているところの御意見があれば。

○**議会事務局長（山田義則君）** 稲葉議員がおっしゃられたとおり、これから物事が進むに当たって、一度に事務局のほうに投げかけられても、ちょっと処理できないと。重要なのは、やっぱりスケジュール。2班は、びしっとこういう形で、案として提案、3月までということやってくれたんですけれども、一応2年間かけてやるということで、最後の半年間ぐらいはまとめ、あとすり合わせ、いろいろで、どうしようこうしようということで最終決定していかなきゃならないと思います。1年半、もう半年たっているんですけれども、1年かけてそこら辺を、具体的なスケジュールを、しかも優先順位をつけてやっていただければ、比較的スムーズに整理できていくんじゃないかなということで、そこら辺のスケジュール立てのほうをちょっと慎重にお願いしたいということで、それだけ要望しています。

○**委員長（山田直志君）** あと、かなり実務を担う吉田君のほうからの意見です。

○**議会事務局書記（吉田瑞樹君）** ちょっと待ってください。

どうもすみません。

私のほうも局長と同じような意見で、これ全部が全部やると、特に私のほうの負担がかなり増えてしまうものですから、もう少し絞り込んでいただくと助かるかなというのがあります。

あと、ざっと見た中で、ちょっとこれは難しいかなと思うのが、まず広報、1番の「伝える」の2の「議事日程、議案の積極的な告知」の「広報にあたっては、ハイキャット、回覧板、HP」というのがあるんですけれども、ハイキャットでは、もう実際に今、一般質問の日程については流しています。ホームページについても、定例会については事前にホームページのほうで日程のほうを流しております。ただ、回覧板については、月2回、5日と25日というのが決まっているものですから、これがうまく定例会の日程前に合えばいいんですけれども、ちょっとそれがどうかなというのがあります。回覧板で流したところで、本当に傍

聴者が来るのかなというのもあるんですけども、これはちょっと私の個人的な意見なんですけれども、議会に傍聴者がいないというのは、議会に来たいとやっぱり思わないからだと思うんです。それであれば、例えばモニター制度とかそういったものを設けて、実際に議会に来てもらって、そういった方から実際に意見を、議会のどういうところを改善したほうがいいのかという、そういうところもちょっとモニターの方から聞くというのも一つの手かなというふうに思います。

あと、1番の「伝える」の同じところですけども、議案をホームページで流すというのがたしかどこかにあったと思うんですけども、これについても、定例会前ですと私のほうも日程的に余裕がないものですから、ちょっとホームページで流す時間がないんですけども、定例会後であれば、議案のほうはホームページのほうに張りつけできると思います。

あと、すみません、ちょっといろいろあったんですけども、急に今、言われたものから、ちょっと私の思いつくところでは以上です。

○委員長（山田直志君） 全体的に、とにかく時期、スケジュールを決めて、いつまでにどの問題を進めていくのかという問題と、あと今後、いろいろ考え方の中でいくと、議員が、じゃ、どこまでできるのかという部分と、どうしてもやっぱりちょっと事務的に議会事務局の負担をお願いしなきゃならないところも出てくるので、その辺もちょっと意識した中で具体化を図っていく必要があるのかなというふうには思っています。

どうでしょうか、内容的にすり合わせを一々ここで……1班と3班の方向も多少の表現の違いとかはありますけれども、大体方向はそんなに違ってないし、2班が出してくれているような具体的に、じゃ、そのためにどういう問題に取り組んでいくのかというような部分、ほとんどかみ合っているような内容ではないかなというふうに私としては思っているんですけども。

どうですか、一々ここでもう一回まとめをつくっておくことはいいでしょう。

（「うん」の声あり）

○委員長（山田直志君） 問題は、じゃあそれをどういうふうに進めていくかということについて、2点目の今後の役割分担や日程というところにかかわるんですけども、その辺は休憩をして、ちょっと相談をしたいと思うんですけども。

暫時休憩します。

休憩 午前11時31分

再開 午後 0時03分

○委員長（山田直志君） じゃ、休憩を閉じ、再開します。

今、休憩中にもお話ししましたけれども、必要なもので全員で協議して進めるべきものと、あと当局に対応を伺うもの、また委員会の中でも事務作業、実務作業が多くて、作業をワーキンググループ等に分けるものとかについて、もう少し正副委員長、また事務局との準備をして、次回の会議を開くようにしたいと思いますが、そういうことでよろしいですか。

（「はい」の声あり）

○委員長（山田直志君） じゃ、どうも今日は御苦労さまでした。

以上で委員会のほうを閉会いたします。

どうも御苦労さまでした。

閉会 午後 0時04分